

# 血液・内分泌・代謝内科研究室

医学部

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/emh/>



医歯学系 教授  
**曾根 博仁** Hirohito Sone

専門分野 生活習慣病、健康寿命延伸、動脈硬化、医療ビッグデータ

医療・健康・福祉

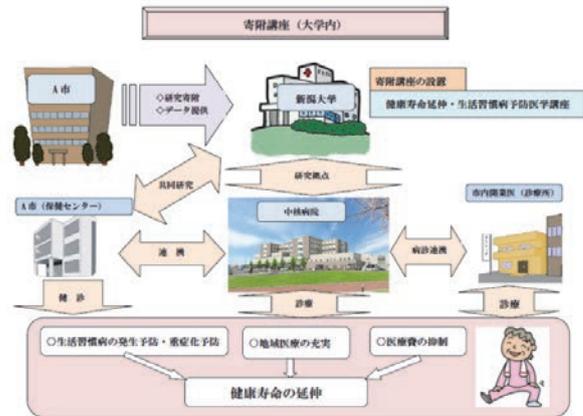
## 自治体連携を通じた健康寿命延伸エビデンスの創出

キーワード 自治体連携、共同研究、生活習慣病対策、健康寿命延伸

### 研究の目的、概要、期待される効果

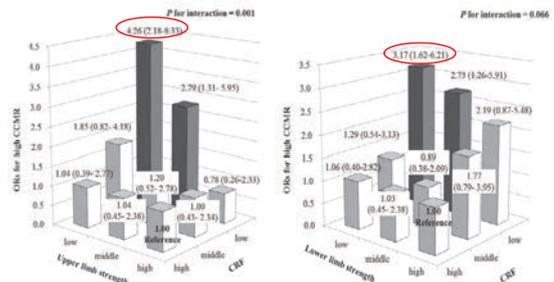
当教室では複数の自治体と共同研究による成果を挙げてきました。例えば阿賀野市は健康増進に力を入れ、学校健診にも血液検査を導入していますが、その医学的サポートを行うと共に、健康施策立案に還元可能な科学的根拠を得ることを目的に、得られたデータを当教室内で解析しています。その結果、たとえば心肺持久力と筋力の両方が低い中学生では、生活習慣病（メタボ）傾向を有する可能性が相乗的に高くなることを報告し（右図）、メディアでも大きく報道されました。また市民病院に生活習慣病センターを設立し、病診連携を含めた診療体制を確立し、市民サービスおよび研究の拠点としています。詳細な食事摂取調査も行い、その他の生活習慣と共に分析しています。また、新成人に対して、全国的にも稀な「成人式場における健診」を実施しており、個人の結果とアドバイスの返却を行うと共に、そのデータの活用も始めています。また治療を中断している糖尿病患者をスクリーニングして、通院再開を促すプロジェクト等もサポートしています。

これらの自治体と共同で行うプロジェクトは、市民の健康寿命延伸やQOL向上に寄与するのみならず、健康施策立案などにも活用可能で、将来的には医療費抑制にもつながるものと期待されています。



講座の概要

### 心肺持久力と筋力の組み合わせによるメタボリックリスクの階層化



基本属性(性別、学区、検診年度)、画面閲覧時間、朝食習慣(欠食の有無)の影響を補正済み

Morikawa S, Fujihara K, Sone H. *Pediatric Diabetes* 2018, 19: 593-602  
研究成果の一例

関連する知的財産論文等

Morikawa SY, Fujihara K, Hatta M, Osawa T, Ishizawa M, Yamamoto M, Furukawa K, Ishiguro H, Matsunaga S, Ogawa Y, Shimano H, Sone H. Relationships among cardiorespiratory fitness, muscular fitness, and cardiometabolic risk factors in Japanese adolescents: Niigata screening for and preventing the development of non-communicable disease study-Agano (NICE EVIDENCE Study-Agano) 2. *Pediatr Diabetes*. 2018; 19: 593-602

### アピールポイント

地域のデータ分析により、住民の健康や施策に直結する科学的エビデンスの確立が可能です。子供から高齢者まで、全世代に関する分析が可能で、地域包括ケアにも活かします。

### つながりたい分野（産業界、自治体等）

- 地元データに基づいた保健施策立案のための科学的エビデンスが必要な自治体。
- 「新潟新世代ヘルスケア情報基盤プロジェクト」とも連携しています。

※お問い合わせは 新潟大学地域創生推進機構ワンストップカウンター まで [onestop@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:onestop@adm.niigata-u.ac.jp)



医歯学系 教授  
**曽根 博仁** Hirohito Sone

専門分野 生活習慣病、動脈硬化、内分泌代謝疾患、健康寿命延伸、医療ビッグデータ

医療・健康・福祉

## 研究リソースとしての医薬品治験データの利活用

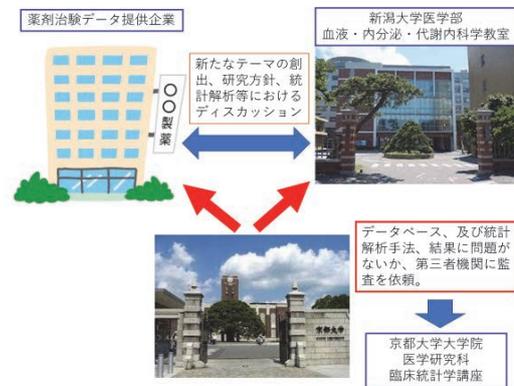
キーワード 産学連携、共同研究、医療ビッグデータ、Pooled analysis

### 研究の目的、概要、期待される効果

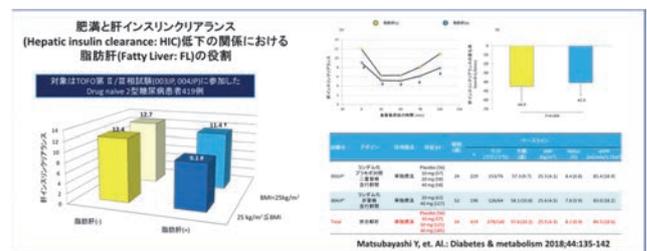
医療・医学界には、膨大なビッグデータが未活用のまま眠っています。当教室ではこのようなデータを、経験豊かな専門医の知識やセンスを活かしつつ専門的解析を行い、新たな知見やエビデンスの創出に繋げる取り組みを行っています。

例えば、その一例として、糖尿病治療薬の治験データ併合解析があります。SGLT2(sodium glucose co-transporter 2)阻害薬は、血糖低下作用のみならず、体重低下作用や心血管イベント抑制作用などの作用を持ち、世界的に注目されている薬剤である一方、そのメカニズムはまだ十分に解明されていません。これまで我々は、本プロジェクトから糖尿病病態生理の新たな側面や本薬剤の新たな効果等について報告しました(右図)。

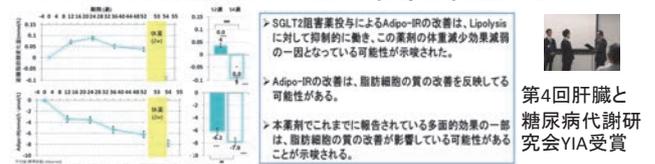
このような既存のビッグデータを、現場臨床的視点から再解析することで、臨床上重要な知見や発見が得られ、同時に糖尿病の病態解明にも資します。本プロジェクトからは、この他にも多くの重要な臨床研究テーマとエビデンスが創出されており、世界最大の患者数を有する東アジア人糖尿病の診療における重要な指針を提供するものと期待されています。



研究プロジェクトの概要



### SGLT2阻害薬の脂肪細胞インスリン抵抗性(Adipo-IR)への影響



研究成果の一例

関連する知的財産論文等

- 1、Matsubayashi Y, Sone H, et al. Diabetes Metab. 2018 Mar;44:135-142.
- 2、Abe T, Sone H, et al. Diabetes Metab. 2018 Mar;44:172-174.

### アピールポイント

経験豊富な臨床専門医の視点を取り入れ、既存のデータベースからも新たな知見を創出できます。健康食品等のデータに関しても医療・健康増進に応用できる可能性があり検討可能です。

### つながりたい分野(産業界、自治体等)

- ・製薬企業、食品企業、スポーツクラブ、検診会社、その他ビッグデータを有する健康増進関連産業や自治体等。

※お問い合わせは 新潟大学地域創生推進機構ワンストップカウンター まで onestop@adm.niigata-u.ac.jp